【宮城県】

宮城県農業高等学校

作物専攻班

高校生ボランティア・アワード2020

支援学校とコラボ 新たな絆が 生む商品開発

始まり

支援学校の生徒と農業高校が一緒に新しいことをしたい！

キッカケ：支援学校では単純な実習が多いことを知りました。何か一緒に出来ないかを考えて新たな商品開発をしたいと目標にボランティアがスタートしました。。私達は学校では十種類のお米を栽培ているので、一緒にお米を贈答用に送る商品開発を使用と提案しました。支援学校との新たなスタートです

真空パックの誕生

お米は常に酸化して食味が下がり続ける為、真空パックにすることでお米の旨味を閉じ込めました。

品種は宮城県産にこだわった

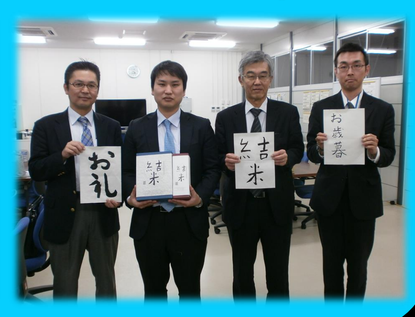
①だて正夢
②金のいぶき
③ひとめぼれ
④ササニシキ
⑤ままむすめ
⑥東北194号
は全て宮城県生まれです。支援学校の生徒に地元のものを食べてもらいたい。

「世界へ輸出」

真空パックした商品は食味が落ちにくいため、世界へ出を行いました。味、香りと私達の活動自体に高い評価を頂きました。輸出はオーストラリアに向けて行いました。

食味を維持する真空パック

輸出には木徳神糧株式会社さんが支援してくださったおかげで実現しました。初めは袋に入れて輸出をしていましたが、船便を使用して赤道を通過する際に、どうしても食味が下がることが指摘されました。そこで真空パックにすると、参加を防ぎ良食味で輸出することに成功したのです。支援学校の生徒さんが作ったものが世界へ発信できました。



支援学校では

私達が作ったお米を支援学校に持っていき、300gごとに正方形に真空パックをします。品種のシールを張ってかんせいです。できたものを私達が箱詰めをして商品として完成します。今まで簡単な実習だけでしたが、これからは支援学校で作ったものが日本・世界に繋がっているのです。

「編集後記」

この活動は先輩から受け継ぎ4年目になります。支援学校の生徒さんが作る真空パックは非常に正確でどれも完成度が高い物になっています。毎年、この実習を楽しみにしてくれています。始めはボランティアという意味合いがありましたが、今ではお互い居なくてはならない存在になりました。私達はこの絆を後輩にも永遠に繋いでいきます。

FUJISAKIとのコラボレーション

私達の活動に賛同してして多くの企業からコラボレーションの話を頂きました。地元デパートのFUJISAKIもその一つです。

「是非、この活動を全国へ広めましょう」との想いでお歳暮のカタログショッピングに採用してくれたのです。お客様から「テレビで見た」とのコメントの他に「応援している頑張って欲しい」との言葉に何回も励まされました。